

令和3(2021)年度シラバス【コミュニケーション英語Ⅰ前半】

68 新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	必履修	6	8	2

教科書	学習書・他教材
All Aboard! English Communication I（東京書籍）	All Aboard! English Communication I （日本放送出版協会）、プリント補助教材

学習目標
<p>学習指導要領の「目標」をさらに達成しやすくするために次の目標を設定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図る。 ・情報や考えなどを理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
Pre Lesson 1, 2 My Name Is Kimura Yui. I Like Japanese Comic Books. Lesson1 This Is My House Lesson2 My Favorite Hero	<ul style="list-style-type: none"> ・be動詞と一般動詞（現在形） ・否定文、疑問文 ・自己紹介をする ・過去形 ・～があるの言い方 ・進行形 	前期試験
Lesson3 Cool Culture from Japan Lesson4 A Miracle Mirror Lesson5 Finding My Future	<ul style="list-style-type: none"> ・助動詞(can, will) ・不定詞 ・動名詞 	後期試験

評価規準と評価方法			
評価は、次の4観点から行います。			
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	②外国語表現の能力	③外国語理解の能力	④言語や文化についての知識・理解
英語を通じて、外国の言語や生活様式など色々な異文化に関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	英語を話したり書いたりして、情報や考えなどを適切な表現を使い、相手が理解できるように伝えることができる。	英語で書かれた説明文や物語などを聞いたり読んだりして、情報や考えを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。	英語の学習を通して、英語の使い方について身につけるとともに、その背景となる外国の文化や習慣についても理解している。
以上の観点を踏まえ、 ①授業態度、学習活動の参加状況の評価する。 ②レポートの結果を5段階で評価する。 ③定期考査の得点とレポートの取り組み状況とで総合的に評価する。			

授業の進め方、課題・提出物など
各レッスンを概ね2時間配当し、前半では文法解説とその文法を用いたコミュニケーション活動を行う。後半では前回の文法を踏まえ、プリントを使いながら教科書の内容を理解し、教科書のExercises等を課する。

担当者からのメッセージ
C英語Ⅰは必履修科目であり、卒業するためにはC英語Ⅰ（前半）と（後半）の両方とも修得する必要がある。基本の英単語や英文法を身に付けると共に、「読む、書く、聞く、話す」の4技能を身につけてほしい。また、英語の部分だけでなく、教科書を通し、外国の様子や文化についても学んでほしい。